

■誤飲による事故防止について



警告

小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■電池について

1年ごとに新しい電池とお取り替えてください。
古い電池は液もれをおこし、時計や周辺のを傷めることがあります。



警告

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより、人体や時計、周りを傷めることがあります。

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れしないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長時間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池を充電しないでください。
- 電池交換時は、電池を時計の端子 (接触部) の汚れを落としてから入れてください。



注意

■取扱いについて



注意

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。
故障や破損の原因になります。



分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

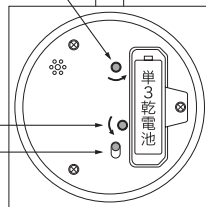
各部の名称

ライト/スヌーズボタン

時刻設定つまみ

アラーム針回しつまみ

アラーム ON/OFF スイッチ



製品仕様

常温での精度：平均月差±60秒

可動温度範囲：-10°C～+50°C

アラーム精度：±5分

機能：電子音アラーム、スヌーズ、ライト

電池仕様：単3形乾電池 1.5V (アルカリ or マンガン)
[size AA/1.5V/LR6 or R6P]

電池寿命：約1年

※電池寿命はアラームやライトの使用頻度により縮まります。

※オキシライド乾電池 (初期電圧の高い高性能電池) には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないでください。

※充電式電池は電圧が低いので (1.2V)、弊社製品には使用しないでください。

※付属の電池は、工場出荷するときに入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

修理について

正しいご使用にもかかわらず、時計が止まったり、進み遅れが大幅になった場合は、お買い求めのお店へご相談ください。

(その際は、同梱されております保証書をご持参ください)

ご使用方法

① 電池を入れる

本体裏面の電池蓋を開けて、中の電池ホルダーの⊕ プラス、⊖ マイナスを確かめ、確実に電池を入れてください。

② 時刻を合わせる

「時刻設定つまみ」を矢印の方向にまわし、時計・分針を合わせます。

③ アラーム時刻をセットする

「アラーム針回しつまみ」を反時計回りにまわして、ご希望の時刻にアラームの針を合わせます。「アラームON/OFFスイッチ」が「ON」の状態になっていることを確認してください。

※針を逆回しにすると、アラームを設定した時刻に鳴らない場合がありますのでご注意ください。

④ ライト確認

「ライト/スヌーズボタン」を押すとライトが点灯します。
(指を離すと消えます)

⑤ アラームを一時的に止める (スヌーズ機能)

アラーム音が鳴っているとき、「ライト/スヌーズボタン」を押すと一時的にアラーム音が止まりますが、約5分後に再度アラーム音が鳴り始めます。

⑥ アラームを完全に止める

「アラームON/OFFスイッチ」を「OFF」の状態にしてください。

※「アラーム ON / OFF スイッチ」を「ON」のままにしておくと午前と午後の2回アラームが鳴り、電池の消耗を早めますので、アラームを使用しないときは「OFF」にしてください。

アラーム時計をご使用頂く際のお願い！

本商品の本体裏側にあります [時計合わせつまみ] は時計針と連動しております。よって、この [時計合わせつまみ] に負担がかかる状態 (例: 商品が倒れて床に接触しているなど) にありますと時間遅れの原因になりますのでご注意ください！

また、本製品に衝撃を与えますと、時間針の脱落・電池外れ他、機械不良等の原因となり得ますので、合わせてご注意のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

ご使用場所

- ・商品は安定した場所、お子様の手の届かない場所でご使用ください。
- ・ガラスを使用している製品は、衝撃によって割れる可能性がありますので、取扱いには十分にご注意ください。
- ・次のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50°C (50度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光にあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10°C (氷点下10度) 以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起こることがあります。)
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する場所。(空気中のちりなどが機械部にたまって、時計が止まることがあります。)
- テレビ・OA機器・オーディオの側など強い磁気が発生する所。(磁気の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- 木枠の時計の場合、非常に乾燥した状態や多湿な状態が長くつづくと、木枠が痛むことがあります。
- プラスチック製の時計は、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互色移りしたり、付着することがあります。



お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後からふきしてください。
- ケースなどの汚れ落としにベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類、みがき粉、洗剤などは使用しないでください。